

# 神経伝導検査

## なにがわかるの？

- 電気刺激により誘発される末梢神経の反射波を観察し、神経障害の有無やその度合いを調べます。
- 運動障害(動きにくさ・脱力・痩せなど)、知覚障害(感覚鈍さ・しびれ・痛みなど)のある時に検査します。

## どんなことをするの？

- 上肢または下肢の神経を電気刺激して、伝わる速さを計測します。
- 刺激は、市販の低周波マッサージ機のような感じで、人によってはピリピリ感・痛み・違和感を覚えるかもしれませんが、体には害がないので心配はありません。

## 所要時間は？

検査する神経の数や病状によって異なりますが  
30分～2時間かかります。

## おねがい

- ◎ 上肢の場合は肘が、下肢の場合は膝が出るようにしてください。
- ◎ 検査中は力を抜いて手足を動かさないようにお願いします。
- ◎ 検査時につけたクリームや赤サインペンは一応ふき取りますが、かぶれやかゆみの心配はありません。

ちょっと  
ピリッ!と  
しますよ



- 検査する神経は主に次の種類です  
顔: 顔面神経  
上肢: 正中神経・尺骨神経・  
橈骨(とうこつ)神経  
下肢: 脛骨神経・腓骨神経・  
腓腹神経